

5/18(日)10:00～12:00 (受付開始 9:00)

薬剤師に求められるプライマリ・ケア-多職種連携によるチーム医療をめざして-

講座情報

近年、医師と多種多様な医療スタッフによるそれぞれの専門性を前提とし、患者の状況に的確に対応した“チーム医療”の提供が推奨されている。その効果として、①医療・生活の質の向上、②医療従事者の負担軽減、③医療安全の向上等があげられる。一方、医療スタッフ間の連携・推進のためには、各医療スタッフの専門性の向上や役割の拡大を活かすため、職種による業務範囲の制限の見直しが必要となる。厚生労働省は2010年4月30日付の医政局長通知として、各スタッフの高い専門性を十分に活用するためには、各スタッフがチームとして目的・情報を共有したうえで、医師等による包括的指示を活用し、その専門性を積極的に委ねるとともに、スタッフ間の連携・補完を一層進めることが重要としている。そのうえで薬剤師が現行制度の下で実施可能な業務の具体例として9項目があげられており、中には薬剤師による身体診察(フィジカルアセスメント)の実施が前提となる項目もある。

本講演では、チーム医療において薬剤師に求められるプライマリ・ケアをテーマに、①プライマリ・ケアとは、②臨床推論(DVD 供覧)、③薬剤師に求められるプライマリ・ケア、④有害事象例(薬疹、薬物性肝障害、抗がん薬による悪心・嘔吐)に対する薬剤師の臨床推論、⑤今後の課題等について、医師の立場から私見を述べてみたい。

講演者情報

葦沢 龍人

東京医科大学八王子医療センター総合診療科科長(教授)

卒後臨床研修センター長